

班	カテゴリ1	カテゴリ2	意見
A	コロナ禍に感じたこと		・自分は農業をしているが、経済的にどうなるのかという不安があった。生産しているものがお客さんまで届かなくなるのでは。2020年の売り上げはそれほど落ち込まなかったが、2021年がどうなっていくのか心配している。
A	コロナ禍に感じたこと		・小豆の値段が安かった。あんこを使った土産物品が出なかったのもある。今後長期的に影響が出てくるのが心配している。会議などもオンラインになって、様々な面で何か変わっていかねばいけないと思う。
A	コロナ禍に感じたこと		・調剤薬局に勤めているが、情報がなかった。患者さんで最近気になるのはストレスの問題。検診や受診に行きにくい部分もあるが、町からも情報発信してほしい点もある。
B	コロナ禍に感じたこと		・夫の仕事に影響があった
B	コロナ禍に感じたこと		・人と会えないことがかなりストレスになっている
B	コロナ禍に感じたこと		・子供の部活動への影響が大きい。頑張ってきたがコンクールが中止になってしまった。
B	コロナ禍に感じたこと		・これまでのあたり前が通用しなくなり固定概念が変わったことは良かったと思う
B	コロナ禍に感じたこと		・農作業はコロナの影響なく行えたが、例年、今時期に多く開催される会議がなくなった。
B	コロナ禍に感じたこと		・医療従事者への差別などは絶対あってはならない。大人が子どもたちに対して良い振る舞いをしていかないと、子どもたちにも差別の意識が植えられてしまうと感じた。分断のないやさしい空気を作っていかなければならない
C	コロナ禍に感じたこと		・昨年3月に小学校を卒業した子どもいる。通っていた学校では卒業式をやらせてもらって携わったすべての方に本当に感謝しかない。農業では、コロナ禍の影響でデイワークの人の募集ができてすごく助かった。会議・会合がなくなってしまって人と会う機会がなくなってしまって寂しかった。
C	コロナ禍に感じたこと		・学校現場は変わった。子ども達にとんでもない制約を課している。学校間の規模で出来ることが違うので子供たちに平等な教育の場を与えていないのではと悩んでいる。歴史のある長年続いてきた学校行事が全てできていない。参観日に来ていただいて教室の雰囲気を知ってもらう機会も無くなり、保護者との信頼関係が希薄になったと感じる。保護者の方々も不安なので過度に反応されることがある。また、行き渋り・不登校に繋がった子どもが相当数増えた。行き渋りで朝学校に行けない子がどの学年にも存在することは経験したことがない。その中でも一人一台タブレットが配備されデジタル化が凄く進んだりという意味では学び方が子供たちにも準備する教員側も変わったなあ、変わるんだ。という思い。よい面もあるけどその何倍も悪い面の方が多いのではと感じている。
D	コロナ禍に感じたこと		・人と会えないこと。関われない。
D	コロナ禍に感じたこと		・様々な行事が中止になったこと。旅行に行けないこと。
D	コロナ禍に感じたこと		・「コロナ」にかからない。自分を守ることの大切さ。
D	コロナ禍に感じたこと		・孫に会えない。
D	コロナ禍に感じたこと		・家族が家に居ることが増え、家庭内での会話が増えた。
D	コロナ禍に感じたこと		・「普通」が幸せと感じた。
A	コロナ禍に感じたこと	次年度に向けた不安	・外食に卸している部分と土産物などがどの程度なのか…間違いなく減る部分で不安がある。国のお金の部分では漠然とした不安もある。

班	カテゴリ1	カテゴリ2	意見
A	コロナ禍に感じたこと	次年度に向けた不安	・飲食店などが自粛や時短などしているが、加工の部分では忙しかったり、格差が出てきている印象。取引の部分など変えていかなければならない点もあると思う。
A	コロナ禍に感じたこと	次年度に向けた不安	・外国人労働者などの労働人材の確保が課題になると思う。
D	コロナ禍に感じたこと	次年度に向けた不安	・引きこもりなど最近話題になっているが、民生委員の立場として特に高齢者支援などに変わりはない。本町では、民生委員の定例会議が毎月開催されていたが、やはりコロナ禍で会議も減っている状況である。高齢者訪問など、コロナ禍では困難な面もある。
A	国等の政策・対策		・いまみんなが不安に感じているのは、罹患した場合どうなるのかという心配がある。周りに迷惑をかけてしまうという部分はあるが個人の責任ではない。しかし雇ってしまったという罪悪感のようなものを感じると思うので、そのあたりについてストレスなどを感じる方もいるので、行政側から情報など発信してほしい。
B	国等の政策・対策		・給付金は一回だけでは足りないと思う。飲食店の支援は国がしっかり取り組むべき
B	国等の政策・対策		・給付金はよかった。
B	国等の政策・対策		・飲食店、観光、宿泊業を支える手立て必要。
B	国等の政策・対策		・町が発行していたプレミアム商品券の情報が届かず、買いそびれてしまった。
C	国等の政策・対策		・給付金を頂いたのはいろんな意味でありがたかった。GOTOトラベル等こういうのがあると使うんだと実感した。ただそれが感染を広げることに繋がったのであれば本末転倒だったなあと思いますが、収まった後にまたやってもらえたら経済が回るんじゃないかと思っています。友人(医者)の話の話を聞くと本当に大変みたいなので、医療関係者に役に立つようなお金の使い方をしてほしい。学校は感染対策等すごく予算を使っているがまだしばらくは必要なんじゃないかと思う。前までは放課後先生たち全員で校内の消毒作業をしていたが、今ではスクールサポートスタッフが消毒や清掃のための人員を雇うことが出来ていて、先生方の負担が全然違う。間違った政策ばかりではないと感じている。
C	国等の政策・対策		・国からは次期作への農業支援という形で入ってくるので大変ありがたく、今年も一生懸命食料を責任をもって作りたいと思っている。どこで使われるのかわからないプレミアム商品券ではなく、個別のお店の券があれば良いと思う。今回のコロナ禍で職を失った人が多いと思います。医療の現場がひっ迫しているのであればそういった方をシーツ交換とかを担ってもなどすれば医療機関の手助けになるのではと思う。
D	国等の政策・対策		・特別定額給付金は良い施策であったが、GOTOトラベルは実施の時期が良かったのか疑問。状況を判断し実施すべきではないかと思う。
D	国等の政策・対策		・批判もあるが、対策はしていると思う。民意を大切にしたい。
D	国等の政策・対策		・クーポン、プレミアム商品券は飲食店などの対策として大切と思った。
D	国等の政策・対策		・商品券は若いお母さん方は興味があると思うが、高齢者にとってどうだったのか。
D	国等の政策・対策		・商品券はなかなか飲食店に出向くことが困難で、食料品を購入する場所で使用した
D	国等の政策・対策		・大学生に対する支援は子どもも懐かしがっていた。(ふるさと学生支援)
A	Withコロナ		・オンラインが加速していくと思う。飲食店は厳しく、テイクアウトなど形態を変えなければならない部分もあるが、そういった部分への支援策などあればいいのでは。(新規事業展開のための資金支援など)。新しいことに取り組んでいかなければならないと思うので、そうした部分についての対策が必要だと思う。

班	カテゴリ1	カテゴリ2	意見
A	Withコロナ		・対面でしかできない仕事ではあるが、今後はテレワークなども考えていかなければいけないのかなと思う。若い世代ならハードル低いと思うが、できない方に対する支援や、金銭的な面も含めて町の支援があればいいのでは。
A	Withコロナ		・コロナが長期化して心が病んでいる部分もあると思うので、議員のみなさんが月に1回でも楽しい動画を配信するなどしてはどうか。
A	Withコロナ		・心のケアが今後のポイントとなるのでは！！
B	Withコロナ		・治療薬が開発されるまでは安心できない(ワクチンでは不十分)
B	Withコロナ		・厳しい財源確保のために、ふるさと納税をもっと活用してはどうか。物品だけではなく、体験型のアクティビティーの提供など良いのではないか。
B	Withコロナ		・もうしばらくコロナとの共存が必要となる。人に会えないストレス解消のためにも、全ての町民にネット環境整備を行い、コミュニケーションを図る方法を考えるべき
C	Withコロナ		・もうしばらく付き合わないといけないと思っている。みんなが不安なことだらけなので人間不安だと攻撃的になったりするのでは誰か感染してもしょうがないと「お互い様」って言葉が大事になると思う。
C	Withコロナ		・やっとワクチンが出回る話になってきたが、早く薬・特効薬が出回ってくれば今まで通りの生活に戻るんじゃないかと、早く戻ってほしい。寂しかったけど人と接しなくてもできる事等見直すきっかけになったと思う。人手が足りないのはどの業界もそうですから今いる人で有効に仕事ができるように、経済が回せるようにもっと改善出来たらいいなあと思っています。
D	Withコロナ		・子どもたちへのタブレット(端末)整備、農村地域と市街地の光ファイバー整備による格差の是正などにより、ますますオンライン社会が進展。
D	Withコロナ		・今後のワクチン接種がスムーズに行われることを期待したい。
D	Withコロナ		・ワクチン接種に関しては、基礎疾患の把握、個人情報保護の観点など多くの問題が想定される。公平性をいかに担保していくかが大きな課題と思う。
B	議会だより	1毎月読んでいるか	・全ページには目を通さない。興味関心がある内容の箇所のみ
B	議会だより	1毎月読んでいるか	・記載されている文言が難解でそれ以上読み進める気が起きない
B	議会だより	1毎月読んでいるか	・自分にも関わりのある内容だと読みたくなる
B	議会だより	1毎月読んでいるか	・ホットボイスとモニターの声は町民からの意見なので気になり読んでいる
B	議会だより	1毎月読んでいるか	・一般質問のページも文字量が多く、興味関心がある質問しか読まない
C	議会だより	1毎月読んでいるか	・くまなくは読んでいないが毎月読んでいる。家族のことはわからない。
C	議会だより	1毎月読んでいるか	・モニターになってからは読むようになった。家族は読んでいないかも。
C	議会だより	1毎月読んでいるか	・身近な人が議員になって読むようになった。家族は多分読んでいない。
D	議会だより	1毎月読んでいるか	・モニターになってからは毎月、見ている。それ以前はやはり関心のあるところを読んでいた。家族はというと・・・？
D	議会だより	1毎月読んでいるか	・完璧には見てはいないが、読んでいる。固くなる記事になるのは当然とも思う。今日はじめてのモニター会議、何か提案できることがあればと思うが、聞くだけになるかも知れない。

班	カテゴリ1	カテゴリ2	意見
A	議会だより	2気になるところ	・昔よりは写真が増えた印象がある。今のほうがまだ読みやすい。顔のイラストがニヤツとしてしまう。ポップな感じで仕上げてもらうといいのでは。
A	議会だより	2気になるところ	・これだけのものを、毎月作っているのはすごいと思う。変えたとしても読まない人は読まないかもしれない。まずは議会だよりを手にとって読んでもらうこと。議会だよりがあることを知ってもらうことも必要。編集後記はもう少し人となりが見えるような文章でもいいと思う。
B	議会だより	2気になるところ	・議会が発信したい内容と町民が知りたい内容とのギャップがある
B	議会だより	2気になるところ	・白黒だから？目を引かない
C	議会だより	2気になるところ	・読みづらいとかはない。地元の議員が近くにいて議会の事を教えてもらえるので難しいという事もないし、直してもらう事もないと思う。
C	議会だより	2気になるところ	・どの議員がどんなことに対して意見を持っているのか、こういう話し合いがあったとすごくわかりやすいと思っている。
C	議会だより	2気になるところ	・中身ではないが、「すまいる」と別刷りで挟んでくる。モニターになる前は捨てていたので「すまいる」のページで入ってたらと良いと思う。「すまいる」は読んでいる方が多いと思うので別物にしなきゃダメなのかと思っていた。
C	議会だより	2気になるところ	(回答意見として、相当前に「すまない」の中にという議論はあったが数年前までは年4回の発行の時期もあり、執行機関と議事機関という違いや予算お金の出所が違うなど一緒にという事にはならなかった。)
D	議会だより	2気になるところ	・審議した一覧と賛否のところを見ていて、あまり変わりがない。町の提案で良いとしている結果と思うが。
D	議会だより	2気になるところ	・他の市町村との比較も大切と思う。毎月発行しているという議会力というか、一生懸命に取り組んでいることを、モニターとして伝えていければと思っている。
C	議会だより	3手に取ってもらうには	・内容自体は良いと思う。議会・議員に対して町民の関心が薄れてきているように思える。未来ミーティング等が頻繁にあり僕らの声を代弁する議員を通さなくても町に声が届くのも原因じゃないかと思う。議員だけのモニター会議を持つのは(時間的に)難しいので未来ミーティングと一緒に来て町民と(議員)の距離を身近にして、結果として身近になった議員が載ってるから「議会だよりを見よう。」の方がきっかけになると思う。
C	議会だより	3手に取ってもらうには	・表紙に議員の顔写真があって、今回こんな議論をしますよ。と吹き出しみたいなもの等表紙に工夫があっても良い。選挙の時だけでなくみんな顔が分かるようになれば良いなあと思う。
C	議会だより	3手に取ってもらうには	・良い所は顔のイラストがよい。改善点ではないが、議会に関心がない人が多いと思うので議会の関心を上げた方が必然的に議会だよりが読まれるのでは。
C	議会だより	3手に取ってもらうには	・読みづらいと思ったことは無い。内容的にも十分だと思っている。
D	議会だより	3読まれるために	・かたい感じがして字も多い。見ようという意欲につなげるためにも図などを使用することも必要なと思う。
D	議会だより	3読まれるために	・字体、見出しを工夫しポイントをしばった内容。議員の考えていることをしっかり伝える様な手法も必要と思う。
B	議会だより	4記事・企画	・議員の役割を知ってもらうことが大切なので、議会が取り組んだ成果を知らせると良い
B	議会だより	4記事・企画	・小中学生にもわかる文章が良い
D	議会だより	4記事・企画	・公立病院のこと、嵐山のことなど。町民の声が届いているのか興味がある。

班	カテゴリ1	カテゴリ2	意見
D	議会だより	4記事・企画	・議員と町民とのやりとりが見える記事は大変興味深い。(意見交換会など)
D	議会だより	4記事・企画	・自分がしている仕事、経験から記事を見ることが多い。インパクトのある的を得た記事に興味を沸く。
D	議会だより	4記事・企画	・一般質問の記事は、聞いて欲しいことを聞いてくれている議員、知っている議員さんなどの記事は読んでいる。
D	議会だより	4記事・企画	・委員会の記事については、傍聴して議員の生の意見が聞けた。多くの住民に委員会での議論も知って欲しいと思うので、記事の充実は必要である。
A	議会だより	5表現の工夫	・予算の関係で白黒だと思うが、堅いイメージがある。カラーで写真が多くて、議員のオフショット的なものがあるといい。「議員＝遠い人」というイメージがある。
B	議会だより	5表現の工夫	・表紙をもっとポップに。紙面構成も議員の顔写真を使い、例えば「議員さん教えて!」と、町民からの疑問に議員が答えるようなしつらえがあると、親しみやすいのではないかと
D	議会だより	5表現の工夫	・興味を沸かせる表題、写真の大きさは重要である。
D	議会だより	5表現の工夫	・カラー化などの工夫が必要。全ページのカラー化は費用もかかる。字を大きくするとか、字体の変化、カラー化なども含めてポイントのある記事についての工夫が重要と思う。